

中部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年4月 中部農林振興局

（中部農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P2~3)
 - 1 JAみやざき中央女性部中央総会が開催
 - 2 青年等就農計画の作成支援
 - 3 一番茶摘採前の茶園調査
 - 4 みやざき茶初入札会が開催
 - 5 4月期子牛せり市が開催
 - 6 AUP会現地検討会が開催
 - 7 温州みかんにおけるドローン撒布実演会が開催
 - 8 営振協花き部会総会及び定例会を開催
 - 9 営振協果樹部会総会及び定例会を開催

- II 主な普及指導活動等の取組み (P4)
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P4)
 - 1 跡江・下小松地区の水田ゴボウ実証ほで現地検討を実施
 - 2 水田大規模経営体への土地利用型品目導入に関する支援
 - 3 綾オーガニックスクール入学式（第4期生）
 - 4 綾オーガニックスクール企画運営委員会定例会の開催

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P5~6)
 - 1 JA宮崎中央のうまい米づくり研究部会総会の開催
 - 2 和牛コンソーシアム農場巡回
 - 3 JA宮崎中央地区本部ダリア販売会議が開催
 - 4 JA宮崎中央地区本部キイチゴ研究会目揃え会が開催
 - 5 綾町SAP会議の総会開催
 - 6 宮崎市SAP会議佐土原支部役員会開催

I 管内農業・農村の主な動き

1 JAみやざき中央女性部中央総会が開催

28日、JAみやざき宮崎支店で開催されました。活動計画では青年部との連携や、学習活動、SNSの活用に取り組みながら地域の活性化を目指すことが提案され、承認されました。

今後、普及センターにおいても、女性農業者の活動を支援していきます。



【女性部中央総会】

2 青年等就農計画の作成支援

4月は2名の就農計画作成支援を実施しました。それぞれの就農予定者との相談をとおし、中長期的な視点で計画を考えるように促しました。

3 一番茶摘採前の茶園調査

8日、国富町にて国富町茶業振興会と茶園調査をしました。会員、町及びJAの担当者、専技とともに、茶園を巡回して生育状況の確認、意見交換を行い、一番茶の摘採時期を予測しました。その結果、1～2月の小雨の影響により、摘採時期が早まるのではと見込まれました。

今後も関係機関と連携しながら、良質な茶の生産ができるように支援してまいります。

4 みやざき茶初入札会が開催

12日、中部地域では宮崎市清武町を皮切りに一番茶の摘採が始まりました。

14日、みやざき茶初入札会に12日摘採の茶が出品され、その日の最高値で取引されました。

今年は例年と比較し、生育がやや遅れておりますが、生葉は良質で、製茶品質も高く、平均価格は過去に類を見ないほど高値で取引されました。

5 4月期子牛せり市が開催

9日と10日の2日間、宮崎中央家畜市場で開催され、合計656頭（雌：258頭、去勢：398頭）の出場がありました。

セリ前講習会では、JA畜産部長から概況等の説明、続いて普及センターから「増える前に抑える 春から始めるハエ対策」「硝酸態窒素を理解する」と題して講習を行いました。合わせて、各農家での農場防疫の強化を啓発しました。

子牛平均価格（税込）は、雌821千円（前回比22千円高）、去勢912千円（前回比3千円高）、総平均876千円（前回比19千円高）という結果になりました。



【研修会に参加する生産者】

6 AUP会現地検討会が開催

7日、綾町内現地ほ場において、生産者等6名が参加し、開催されました。

今回は会員2名のほ場を巡回し、栽培管理等について意見交換を行いました。これから、病虫害の発生が増えてくることが予想されるため、予防や発生時の対応について啓発を行いました。

AUP会は、自らが成長することを通じて綾町を元気したいとの思いで環境制御技術をはじめ幅広い分野の勉強会を続けています。引き続き会の活動を支援し、生産性向上を支援していきます。



【AUP会 現地検討】

7 温州みかんにおけるドローン撒布実演会が開催

27日、高岡町において、JA・県等の関係機関約20名が参加し、実演が行われました。

主要な薬剤散布をドローンを用いて行う体系の構築を目的とし、今回は、その1回目の散布です。散布前にJA指導員とみかんの樹に感水試験紙を設置し、散布終了後に農薬の散布ムラを確認しました。

散布作業はわずか数分で終了し、農薬のかかり具合も良好でした。引き続き、防除効果等を含めて調査します。



【ドローンによる散布作業】

8 営振協花き部会総会及び定例会を開催

14日、中部農業改良普及センターにおいて、関係機関14名が参加し、中部地区営農振興協議会花き部会の総会を開催しました。

展示ほ調査や新規就農者確保の取組等、令和7年度に取り組んだ活動や予算の執行内容について協議するとともに、役員体制や令和8年度の重点事項や展示ほ計画等について協議を行い、いずれも異議なく承認されました。

また、総会に引き続いて定例会を開催し、各品目の生産販売状況を共有するとともに、各展示ほの実施方法を検討しました。

今年度も、関係機関と連携し各品目の課題解決を行ってまいります。

9 営振協果樹部会総会及び定例会を開催

22日、JAビルにおいて、関係機関16名が参加し中部地区営農振興協議会果樹部会の総会を開催しました。

高温対策や省力化等、令和7年度に取り組んだ活動や予算の執行内容について協議するとともに、役員体制や令和8年度の活動方針や展示ほ計画等について協議し、いずれも異議なく承認されました。

また、総会に続いて定例会を開催し、各品目の生産販売状況や補助事業等について共有するとともに、各展示ほの実施スケジュールについて検討を行いました。

今年度も、関係機関と連携し各品目の課題解決を行ってまいります。

II 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

【重4・マーケットインに基づく土地利用型営農の振興】

1 跡江・下小松地区の水田ゴボウ実証ほで現地検討を実施

22日、水田の裏作としてゴボウ栽培を検討するため、令和7年度から設置している実証ほで実施しました。

試し掘り結果をもとに収穫時期の検討と収穫時の段取りを確認しました。収穫は5月上旬の予定です。

今後も産地化に向けて検討を進めていきます。



【水田ゴボウ実証ほ】

2 水田大規模経営体への土地利用型品目導入に関する支援

23日、宮崎市内で、水稻裏作で二条大麦の導入を検討している大規模経営体1戸に個別支援を行いました。管内で以前より栽培している生産者も交え、機械利用体系や施肥、防除技術等について説明し、技術的な課題や機械類の装備など栽培面の理解促進に努めました。大規模経営体からは、自身の経営で適応性を検討する上で参考になったとの意見が出されました。

今後も、農地利用や品目選定など個々の実情を踏まえながら土地利用型の大規模経営体の育成を支援していきます。

【重5・有機農業の拡大による環境保全型農業の推進】

3 綾オーガニックスクール入学式（第4期生）

2日、綾町有機農業開発センターで執り行われ、3名が入学しました。全員県外出身で、綾町に移住しています。

また、スクールの学生(計5名)は、全員が綾町の地域おこし協力隊の委嘱を受け、学業と地域おこし活動に取り組みます。



【入学式】

4 綾オーガニックスクール企画運営委員会定例会の開催

22日、綾オーガニックスクールの運営主体である（合）アヤオーガニックワークス事務所に於いて開催され、関係者7名が出席しました。

令和8年度のシラバス（教育課程）や5月の栽培研修（甘藷、バレイショ）について検討を行いました。座学研修の一環として、普及センター主催の基礎研修等もシラバスに盛り込まれ、今年度も積極的に活用する予定です。

今後も関係機関と連携して、スクールの運営支援を続けていきます。

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 JA宮崎中央のうまい米づくり研究部会総会の開催

17日、宮崎市内で生産者や関係機関ら約30名が集まり、令和8年度の特別栽培米に取り組む標記部会の総会が開催されました。

8年産の活動計画等の協議が行われ、普及センターからは、安定した収量確保に向けて、水管理や病害虫防除の説明を行いました。

生産者からはスクミリングガイ防除等の質疑がありました。

今後も現地指導や穂肥講習会など行い、安定した高品質な米作りを支援していきます。

2 和牛コンソーシアム農場巡回

7日、清武町で若手生産者を対象とした農場巡回指導を行いました。今年度よりJA技術員、NOSAI獣医師、振興局、普及センターによる総合的な支援を開始し、この日はNOSAIによる繁殖検診や生産者自身での飼料給与量の確認を行いました。

今後も定期的に巡回を行い、繁殖成績等の生産性向上を目指します。



【飼料給与量を確認中】

3 JA宮崎中央地区本部ダリア販売会議が開催

22日、宮崎市において、生産者6名、関係機関4名、取引のある花き3市場3名が参加し、開催されました。

県外市場関係者から販売状況等の説明があった後、現在出荷されている各品種の評価について説明がありました。普及センターからは、秋田県とリレー出荷を行っているNAMAHAJEシリーズの第15期生新品種の紹介や現在試作を行っている第14期生の特性調査の状況を説明を行いました。

これらの情報を踏まえ、来作で作付けする品種や面積について活発に意見交換が行われました。

4 JA宮崎中央地区本部キイチゴ研究会目揃え会が開催

30日、田野ふれあいセンターにおいて、生産者やJA指導員等30名が参加し、キイチゴ「ベビーハンズ」の目揃え会が開催されました。

JAから各種の情勢報告があった後、今期から乾式・横箱での輸送を導入するにあたって、出荷規格や鮮度保持包材の梱包方法等について入念な説明がありました。

また、普及センターからは、キイチゴが植付け後複数年にわたって同じほ場で栽培されることを踏まえ、堆肥利用の考え方やほ場の排水性確保等土づくり対策について説明を行いました。

引き続き、生産安定に向けて各種技術支援を行ってまいります。



【出荷調整方法の説明】

5 綾町SAP会議の総会開催

16日、綾町「ぼぼにこ」で開催され、令和7年度活動実績と令和8年度活動計画が承認されました。また、会員それぞれから昨年度の反省と今年度の目標について発表がありました。

総会終了後、普及センターからSAP会員に対して、農作業安全と熱中症対策について啓発を行いました。



【綾町SAP会議総会】

6 宮崎市SAP会議佐土原支部役員会開催

21日、佐土原総合支所で開催されました。佐土原SAPが食育事業として行っている保育園児の芋の苗植え付け計画や、今年度3回開催予定の学修会について協議しました。会員からの要望により6月に堆肥に関する学修会をメーカーに依頼し開催することになりました。

あと2回の学修会は、会員の要望に応じた内容で普及センターが協力し開催予定です。

宮崎県農林水産業ナビ
～ひなたMAFiN～
ひなたマフィン 検索
情報満載！ぜひアクセスを！⇒

